



市議会議員 中野あきと事務所ニュース

591-7376
akito.n@m3.dion.ne.jp

市議会議員 中野あきと事務所ニュース

みどり清流

2004年 3月発行 第28号

日本共産党 中野あきと事務所
日野市南平7-6-72 ☎599-3350
〒191-0041 発行責任者 小山敏正

しんぶん 赤旗

日刊紙 1か月 2900円
日曜版 1か月 800円

お申し込みは
南多摩事務所
☎042-374-4384
又は、中野事務所へ

生活・法律相談など
お気軽にお立ち寄り下さい

高幡
南平駅
中野あきと事務所

ヤマダ
デンキ

北野街道

「お金がない」というけれど 市の積立金

主な基金の積み立て状況

	1999年度末 (決算)	2003年度末 (見込み)
財政調整基金	4.95億円	22.40億円
公共施設建設基金	2.18億円	13.42億円
環境緑化基金	8.92億円	9.71億円
職員退職手当基金	8.26億円	14.86億円
学校施設整備基金	なし	8.53億円
市立総合体育館建設基金	なし	6.00億円
計	24.31億円	74.92億円



は増えています

馬場市長は「お金がない」といって、高齢者や障害者の福祉手当ての力、市立幼稚園の統廃合や学校給食の民間委託などの「行革」をすすめてきました。

その一方で毎年、多額の基金(市の貯金)が積み立てられています。

《表》は、今年度の基金残高(見込み額)を、馬場市長が「第二次行革大綱」を発表した九九年度末の基金残高と比較したものです。

これら基金の積立が全て問題とは言えませんが、切実な市民の要求を「お金が無いから」と抑え込んだり切り捨てるのは問題です。

財政調整基金や公共施設建設基金など、使用目的が具体的に定まっている基金だけでも、四年間で五倍も増えました。学校施設整備基金や市立総合体育館建設基金などこれまでになかった基金の積み立ても始まっています。

なぜ給付水準が15%も引き下げられるのか。今度の改悪から導入する「マクロ経済スライド」という仕組みにそのからくりがあります。

いまは、原則として賃金や物価があかれば、給付額もそれに合わせて引き上げられます。

しかし、「マクロ経済スライド」では、年金の加入者が減ったり、長寿化で受

マクロ経済スライド

た1.2%しか上がりません。

すでに年金を受けている人は、物価上昇率の1.0%から0.9%を差し引いた0.1%しか上がりません。

この場合、物価が1%上がっても、年金は0.1%しか上がりません。

この調整がくり返し実施されるため、「マクロ経済スライド」が導入されない場合に比べ、2023年度に

自動削減の仕組み

給者の平均余命が伸びたりすれば、年金額を自動的に減らす仕組みです。厚生労働省は、この調整率を平均年0.9%と見込んでいます。

①賃金(物価)が大きく上昇した場合。
かりに年間の賃金上昇率が2.1%、物価上昇率は1.0%だとします。
年金を新たに受ける人は、賃金上昇率の2.1%から「スライド調整率」の0.9%を差し引い

受け取る年金額は約15%の給付減となります。

②賃金(物価)の上昇が小さい場合。
年金額は変わりません。しかし、この場合も、年金の「価値」は下がります。

③賃金(物価)が下がった場合。
この場合は、「賃金スライド」「物価スライド」が適用され、賃金や物価の下落にあわせて年金給付額が引き下げられます。

年金改悪

一律15%カット
マクロ経済スライドの非情

私たちの年金が大問題になっています。小泉内閣の年金「改革」は、厚生年金と国民年金の保険料を毎年引き上げると同時に、給付水準は引き下げる大改悪だからです。

とりわけ問題なのは、現在受給している人をふくめて、一律に給付水準を15%カットすることです。国民年金だけの受給者も例外ではありません。国民年金しか受給していないお年寄りには900万人にのぼりますが、受給額の平均は1カ月約46,000円(02年度)です。

どの年金も給付を一律、自動的に減額する仕組みが導入されるわけですが、それが「マクロ経済スライド」です。

「本来、国民の最低限の生活保障となるべき生活保護の水準をはるかに下回る国民年金に、実質15%もの給付水準の引き下げを押しつけることは、憲法で保障された生存権を国みずから侵害するものだ」と日本共産党の志位委員長は2月18日の党首討論で、憲法とのかかわりで小泉内閣の年金改悪問題を追及しました。

しんぶん『赤旗』日曜版 2月29日号より



東電・工事再開を申し入れ

これまでの経過の概略

モノレール高幡駅北口近くに変電所の建設を予定していた東京電力は、平成14年5月、日野市に対して「近隣住民の大方の理解は得られた」と虚偽の報告をして工事を強行。これに住民は抗議し市長にも善処を要望。市長は東電に2か月間工事を中断して、住民と話し合うよう申し入れました。

ところが東電は、十分な話し合いの無いまま2か月後の同年9月に再び工事を強行。市長は東電に対し変電所の『地中化』を要望し、これに対する回答がなされるまでは再開した工事を中断するよう伝えました。

同年10月東電は、日野市に対して『地中化』は困難と回答し、住民に対しては「納得の得られるような提案をする」と約束し、工事を中断したまま、現在に至っています。

住民「理解が得られるまで 強行はするな」と主張

今年に入り2月10日、東電は、工事再開のための説明会の開催を住民側に通達。3月6日、その説明会がもたれました。席上東電は「電力の安定供給の責任」を強調しながら「平成17年の完成を目指す」として、状況によっては「住民の理解」をあいまいにして工事を強行することを否定しない態度を明らかにしました。

住民側は、過去二度に渡る工事強行の非に対するけじめをつけないばかりか、今後も強行はあり得るという態度では、このまま話し合いは続けられないと主張。その結果、東電は、出された意見を整理して、再度話し合いをもつと次の会合を約束し、住民側もこれを了承しました。



平山6丁目の交差点

改善を求め警察とも交渉

先月号でお知らせした平山6丁目の危険な交差点の問題について、村松前都議と私は、日野警察署をおとずれ、改善の申し入れを行ないました。

警察の担当者は「信号機の改善も検討しているが、今すぐめられている5丁目交差点の改善後の車の流れなども見ていきたい」「より根本的には道路の拡幅や変更も含めて、交差点の改良が必要」との見解を示しました。

引き続き、市の対応もただしながら、改善に努力したいと思います。

中野あきと



みえ子のとびある記



私のところには都議会があるたびに、いろいろな調査の依頼が党の都議団から飛び込んできます。私は現役時代、質問づくりは「現場主義」をモットーにしてきました。

三月の議会に向けては「高齢者の実態調査」ということで、都の福祉切り捨てと介護保険の実態、医療費の定率負担や年金改悪の影響などがあり、寝たきりの高齢者を抱えている二世帯の方を訪問し、お話を伺ってきました。

ある方は、「七十歳の弟が二回脳梗塞をおこして寝たきりに。間もなく病院を出なければならぬが、家で見るのは大変。療養施設は月十五

万円もかかり、七万円の年金ではどうにもならない」と訴えておられました。

五年前から、寝たきりの母親を介護している息子さんは「介護保険料、利用料以外にも月十万円の自己負担を支払うと、自分の着るものも買えず、外でささやかに飲むこともできない。税金を庶民のために使ってほしい」と切実でした。私はせめて、寝たきりの高齢者に支給していた「老人福祉手当（月五万五千元）」あればいいこの制度を廃止した石原都政の都民いじめに怒りが一杯です。

こうした問題こそ議論すべきなのに、わが党以外の会派はとり上げません。都民の都政を取り戻すために、決意を新たにしていきたいと思います。

前都議会議員 村松みえ子

短 信

自衛隊のイラク派兵を憂いご自身の生い立ちを披れきしながら、「この道はいつか来た道にしてはならない」と告発する文章が、FAXで事務所に届きました▽書かれた方は深川で東京大空襲下を逃げ惑い父と兄弟一人を失い、戦後は立川の基地近くに住み、飢えをしのぐために米兵の残飯あさりも経験。家に土足で踏み込んできた米兵によって三歳上の姉が小学六年生の目の前で襲われる。姉を守らんと必死に抵抗したものの、米兵に殴られ前歯を欠損という悲惨な体験も▽「戦争で被害にあうのは女と子ども」「憲法を変えてはいけない」との訴えを心からの叫びです。戦争被害の体験者が年々少なくなっていくが、その一人として、自衛隊の派兵には絶対に反対であると。米軍は私の幼年時代の悲惨な出来事をくり返しているかと告発しています▽その思いは、ささやかな紙面ではとてもお伝えすることはできません。五十九年前の三月十日は東京大空襲。体験者の一人としてあの日の光景がよみがえりました。